

栃木中央地域包括支援センター 担当

✚ 日 時： 令和5年12月19日（火）午後1時30分～2時00分

✚ 会 場： 栃木市役所401会議室

✚ 事例数： 1ケース

✚ 参加者数： 11名

事例提供者1名、サービス提供事業者1名、助言者7名、
傍聴者2名

腰痛や膝痛等があるが医療機関未受診の74歳女性

〈目標〉1日:日々の暮らしを安全に送る。

1年:現在の生活を維持する。

利用サービス:訪問介護(基準緩和型)

《生活全般の解決すべき課題》

- 通院の必要性を理解し、医療につなげ、痛みを軽減する。
- 部屋の片付けや手すり等の使用で、転倒の危険性を軽減し、より安全に暮らすことができる。

《助言者からの助言内容》

- 医療機関を受診していないので、必要時に受診できるとよい。
- 残歯が20本あるので咀嚼は問題ないが、毎食後のブラッシングは行って欲しい。
- 「お茶や汁物でむせることがある」にチェックがあるので嚥下機能が低下している可能性がある。パタカラ体操等、舌の体操をできるとよい。
- 食事について、茹で野菜に酢をかけて食べているため歯の表面が酸で溶けやすくなる可能性がある。食後に水で口をゆすいで欲しい。
- 受診をしていないので肝機能、腎機能がどのようになっているか心配である。健康診断を受診して欲しい。
- 転倒予防のためトイレ等の動線を確保するとよい。腰痛から医療機関を受診できるとよい。



医療機関を受診できるよう勧めて行く。口腔体操等の声掛けをしていく。

☆地域課題(地域に不足、再構築を図りたい支援・サービス等)

- 近所の見守り、声掛け